

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公表番号】特表2005-504165(P2005-504165A)
 【公表日】平成17年2月10日(2005.2.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-006
 【出願番号】特願2003-532607(P2003-532607)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 183/04

C 0 9 J 11/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年1月15日(2010.1.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

界面活性剤の存在下で連続水性相中で乳化した分散シリコーン相を含有する感圧接着剤エマルジョンの製造方法であって、前記分散シリコーン相がシリコーン感圧接着剤40 - 80重量パーセントを含み、当該シリコーン感圧接着剤が、ガラス転移温度-20以下のシラノールを末端基とするポリジオルガノシロキサンと、ガラス転移温度0以上のシラノールを含むシリコーン樹脂とを混合して得た生成物であり、前記シリコーン感圧接着剤が、沸点300以下の揮発性シリコーン液60 - 20重量パーセント中に分散しており、前記エマルジョンが非ケイ素原子含有揮発性有機材料を含有しておらず、当該製造方法は、シリコーン感圧接着剤及び揮発性シリコーン液の全重量に対し1 - 20パーセントの水を加えながら前記シリコーン感圧接着剤及び揮発性シリコーン液を界面活性剤と混合し、ピスコース水中油相エマルジョンを形成させ、次いでさらに水を加えて希釈エマルジョンを形成させる工程を含む方法。

【請求項2】

エマルジョンを揮発性物質除去剤と共に加熱し、エマルジョンに水を加えて除去された水を補填することを含む、揮発性含有物が低減されている感圧接着剤エマルジョンの製造方法である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

エマルジョンを疎水性の浸透気化膜に接触させることを含む、揮発性含有物が低減されている感圧接着剤エマルジョンの製造方法である請求項1に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

本発明の感圧接着剤エマルジョンは、界面活性剤の存在下で連続水性相中で乳化した分散シリコーン相を含み、この分散シリコーン相は、シリコーン感圧接着剤40 ~ 80重量

パーセントを含有する。これは、ガラス転移温度が - 2 0 以下のシラノールを末端基とするポリオルガノシロキサンと、ガラス転移温度が 0 以上のシラノールを含有するシリコーン樹脂を混合して、沸点 3 0 0 以下の揮発性のシリコーン液 6 0 ~ 2 0 重量パーセントに分散させたものである。このエマルジョンは、実質的に、いかなる非ケイ素含有揮発性有機材料も含有していない。